

総務文教委員会記録

令和元年5月13日（月）
13時31分～14時45分
第1委員会室

（委員）野藤委員長、小川副委員長
沖田委員、西川委員、永見委員、佐々木委員、道下委員、西田委員
（議長・委員外議員）
（総務文教委員会 所管管理職）出席者なし
（事務局）篠原書記（傍聴者）1人

議題

1 政策討論会のテーマについて

「高齢者の移動手段の確保」「空き家の利活用」「地域の人材育成」

（1）提案の趣旨

（2）課題・問題点

（3）提案内容

（4）予想される効果

（5）必要な経費

（6）その他（テーマを絞るか）

各委員が3つのテーマから1つについて、（1）～（5）を5月21日までに事務局へ提出。5月23日の委員会で1つのテーマに絞ることとする。

2 その他

行政視察の日程を7月22日（月）～24日（水）と決定

【以下詳細は会議録のとおり】

【会議録】

(開 議 13 時 31 分)

野藤委員長	ただいまから総務文教委員会を開催する。今日は政策討論会のテーマ絞り込みが一番の議題である。その他は事務局から何かあるか。
篠原次長	特に予定はない。
野藤委員長	その他は委員会視察について今から考えてもらっておいて。政策討論会のテーマについての視察が本当は良かったのかと思いつながら、少し立ち遅れている。

1 政策討論会のテーマについて

「高齢者の移動手段の確保」「空き家の利活用」「地域の人材育成」

(6) その他（テーマを絞るか）

野藤委員長	レジュメのとおり進めたい。事前に茅ヶ崎市のテーマを自分で絞ったものを資料として添付しているが、最初にそれを取り上げる。 (6)のテーマを絞るかとあるが、このとおりで良いかと思ったのだが、このとおりやっていくか。
-------	--

(1) 提案の趣旨

野藤委員長	高齢者の移動手段の確保、空き家の利活用、地域の人材育成という3つのテーマに絞ってあると聞いている。この3つについてそれぞれ提案議員がおられると思うが。
小川委員	これは3月議会の時にある程度絞り込みをしようということだったが、あくまでも去年秋の井戸端会で出された意見の中から出たものがテーマに出来るのではということだった。
野藤委員長	誰が提案したというものではなく。
小川委員	多かった意見や委員の方から出された意見の中から選んだ。
野藤委員長	課題解決のための政策提案なので、この3つの重要課題が出た。委員会ではここから1つに絞りたい。今の浜田市にとってどれが重要課題だろうか。
沖田委員	多分3つあって、浜田は面積が広いから中山間地は高齢者の移動手段が恐らく喫緊の課題だろうし、空き家はそこまで問題ではないけど、浜田市内に入ると空き家問題の方が圧倒的だから、優

野藤委員長
道下委員

先順位を見出すのは難しい。強いて言えば地域の人材育成になる気がする。

その他ご意見は。

この3つは遜色なくどれも重要課題で甲乙つけがたい。中山間地のみならず振興団地も20年経つと空き家が出ている状況がある。そういうことから3つ取り上げればいいのではないか。

野藤委員長
永見委員

その他。

私も3項目とも重要だとは思いますが、空き家の利活用は市街地における賑わいや活性化に直結する喫緊の課題ではないかと感じた。

野藤委員長
西川委員

西川委員。

中山間地の特別委員会では交通・通信・情報の確保対策という課題について12月まで検討する予定となっており重複することもあるかもしれないので、空き家と地域の人材の2つに絞っても良いのではないか。

野藤委員長
西田委員

その他。西田委員。

根本的には人口減少対策の中の具体的な対策として、空き家対策があつたり高齢者の移動手段がある。根本は人口減少対策。人口減少対策と同じくらい大きいテーマなのが人材育成だと、私は感じている。人材育成の具体案は今の所ないが、色んな物に共通している難しいテーマ。どの辺に絞るかとなると、僕は人口減少対策の中に空き家や高齢者の移動手段があると思うので、違う意味のテーマが人材育成だと感じている。色んな手段があろうが。

野藤委員長

西川委員が話したように、(1)は中山間でやりそうなので外した方が良く私も思った。ただ、この3つの中で今ある事業や施策が一番手薄なもので、何か提案できたらと考えていたので。佐々木委員。

佐々木委員

(1)高齢者の移動手段確保は、新しい公共交通計画に一応網羅されていて、財政面も含めた分野を検討して出来るところからやっていく感じだが、有識者や交通関係者が携わっている。それとは別に我々独自でニーズを追及するのも1つの手段だと思う。

一番危険度が高いのは(2)の空き家問題。人命に関わるので重要だが、これは色んな法整備が必要だし国でもやっと特措法が出来

て、現状で整備できるギリギリだと思う。我々がどこまで立ち入れるのか。住民にも協力を呼び掛ける方向に持っていくなら(2)が一番高いと思う。

人材育成は全国的に考えている問題で、一番取り組みやすいと思う。ただ、実際に効果を出すのは難しい。

それぞれ難しい部分はある。重要なのは(2)だと思うが、住民に聞きながら調整したらどうか。

野藤委員長

議会報告会が色々お聞きする場かなとも思った。危険空き家と空き家の利活用は別物だと思う。

西田委員

空き家利活用については 13 年前の合併当初から空き家は増えていて、空き家対策はどうしたら良いか議員も一般質問をしている。このまま放置すると産業廃棄物としてお金がかかるが、再利用もできる。都市部からの移住希望者の受け皿として空き家を活用するために、空き家ごとの個別情報を管理して対策しないといけない。しかしそれを誰がやるかが決まらず行政が進まなかった経緯がある。8 年くらい前に国が緊急雇用対策をやった時、各地方自治体が色んな方々を事業主として雇ったが、その中の 1 つに空き家対策に加わる方がいて、その方が地域に出かけて空き家情報を集めて、すぐに空き家バンクに登録できるものは登録したことで、市の空き家バンク制度ができた。数十件登録するとすぐに空き家に入る方がおられて結構順調にいつている。

緊急雇用は 3 年期限なので、その方がおられなくなった時から空き家バンク登録が減ってきた。市の担当部署が引き継いでやってはいるが、積極的に情報収集しないと増えない。

この 2、3 年は議会報告会や井戸端会に出かけると、自治会単位でいくらかでも調べてやると言ってくれる地域もあるので、出来る限りお願いして空き家情報を集めて登録すれば、早く空き家の利活用ができるのではないかと、そういう話くらいまでは進んでいる段階。

野藤委員長

まだ課題があるということか。

西田委員

課題はある。空き家を売なのか貸すのか潰した方が良いのか、情報を的確に把握するのが一番。

野藤委員長

小川副委員長。

小川副委員長

今日の地方紙でも中山間の課題ということで、ドローンによる空の宅配を始めた岡山県の例が出ていた。アメリカのウーバーがアプリによる配車サービスを始めたそう。そういうのが今の課題なのかと感じた。

政策討論会のテーマを決めていくことは最終的には事業にまで持っていけるような中身を検討しようということだと思う。まず住民ニーズを把握する。現行3つのテーマに関わるような事業を既に市は実施していることがある。特に移動手段で言うと敬老乗車券を始めデマンドタクシー、生活路線バスのことも色々やっているが、その事業で足りない点を補完する形か、全く別アイデアを出すのか、先進地事例を取り入れる形で本当に困っている課題を何とか解決していく形で考えるのか。ある程度絞り込まないと難しい気がした。空き家にしてもNPOが中心になって移住やシェアハウスとして利用するといった色んな活用事例が出ている。人材活用については我々が視察したやねだん等、かなり提言されたものもあるが、地域で中心になる人づくりという意味でのプログラムやカリキュラムも公表されているし、講座を受けた人が中心になって地域活性化を担う、そういう人材がないと機運も高まらない実情もある。人口減少の中でこれらの問題が出ている。合計特殊出生率を見ても、既に20年30年前から今の状況は予測できた。予測されながら東京一極集中による地方疲弊、人口減少、過疎化の問題に対してどのような手を打つかといった時、今の経済システムの中で進んできた結果がそうになっているとすれば、もちろん市町村合併もあったが、今の現象は移動手段がなくなって生活できない、危険空き家を放置して都会に出た等の問題の根底には、地方で暮らせなくなった、経済の流れによってこういう問題が起こっていることから見ながらやらないと。

緊急問題には甲乙つけがたいが、根底にもメスを入れて考える必要がある。原因も議論しながらやっていくことが必要かと思う。そうするとテーマもある程度絞り込む必要がある。

野藤委員長

皆さんそれぞれ思いがある。浜田市に足りない部分を何とかしたい思いが出た。そういうものを提案してもらい、当委員会ではどれを進めるのか決定したい。原案を1ないし2本。最終的には

	1 本に絞らないといけないと思うがどうか。
道下委員	最終的に 1 本というのはどこから出たのか。
野藤委員長	各常任委員会で 1 本ずつ出して……どちらにしても 3 常任委員会で出てきた各 1 本なのか、総務は 2 本なのか色々あるので、最終的には 1 本に絞ると思う。
道下委員	では 1 本に絞ろう。
野藤委員長	今言われた内容で絞るか。ある程度、書き物にして議論した方が良い気もするがどうか。福祉環境委員会はある程度政策提案に絞り込んであるが。絞り込む前は何本あったのか。
篠原次長	福祉は結構たくさん出ていた。
野藤委員長	それを絞り込んだはず。最終的には西村さんの意見を柱に、いくらか修正されたのが福祉から出ているので。
佐々木委員	視察の…。。
野藤委員長	琴浦には琴浦の条件があるし、浜田市にそっくりそのまま適応はできない。
佐々木委員	ある程度入れ込んでいる。
野藤委員長	皆さんが言われたようなことを浜田市バージョンとして具体的に出して、それを検討材料にしたい。3、4、5 というのは提案内容と予想される効果。浜田市は現状がこうだからこういう提案をする、効果はこういうものがある。そういう提案をしてもらい、それに対する必要経費。福祉は 1 千万円程度の事業費と言われたが、そのような経費で提案をしていただきたい。
	行政側が出してくる事業については、浜田市総合振興計画内の分類で事業を持って来ているので、それも見てください、それに合うように考えれば必要経費も取りやすいのかなと思っている。そういう事業提案もしくは条例に持っていくのが、このたびの政策討論会の課題だと認識している。
道下委員	もう決まっているのがあって、それに付随して効果に気づくのでは。
野藤委員長	自分が思う予想効果、例えば敬老乗車券が出ているが、自治会輸送もこのように変えればもっと使いやすいとか。有償・無償で出られる範囲が違う。他自治体の事例を参考にして提案したり。そういうものが次回欲しい。それから 1 本化する。その中で検討

道下委員
野藤委員長
西田委員

しあって議論して、当委員会の提案を決定したいがいかがか。

委員長がそう言うならそうしよう。

政策討論はそういうものだと思うが。

高齢者の移動手段も有償・無償、地域の実情にあったやり方で色々あって、先進地も色々ある。中にはタクシーや地域バスを利用したものもあるし、企業を利用したものもある。浜田市の場合は、地域高齢者のために時間を割いてやってあげようとする方々が1つの組織を作って動き出さないといけない。空き家バンクも地域から情報を集めていく人材がどうしても要る。地域の人材育成はそれらを網羅して、地域の課題に応じて地域のために何ができるか、できることを自分がしようという人が複数集まって動き出して、初めて地域の中で何かができる。そのような人材が増えてこない地域は元気にならないし施策手段を講じてもうるやうに進まない、それが現状だという気もする。

自分のことも大事、でも地域や今困っている人々に私たちは何ができるかという意識を持った人材が増えていくことも大事。若者にそういった教育をすることも大事。色んな意味で浜田を将来支える人々の意識を変えていく。地域と関わることで育まれるものだと思う。そういった面では、人材育成は大きなテーマだが浜田にはすごく大事なテーマだと思う。全てに共通して大事なことだと思う。

野藤委員長

それを具体的事業をイメージしながら政策に結び付けていくように、皆さんに次回出してもらって絞り、更にブラッシュアップする作業をして。執行部も勘違いして、これが必ず出てくると思っていたようだが、政策討論会で絞った結果それが出てこない場合もあるし、我々が提案したものが漏れる場合もある。ただし、やることで執行部にヒントを与えたり、別の形で出てくることもあるので、政策議論は必要だと思う。その前の積み上げの段階という思いで、次回は実例を参考にする等して提案をいただきたい。

野藤委員長

西川委員。

西川委員

5月8日にいただいたメールには、茅ヶ崎を参考にして当日ご持参いただきますようであったので、一応拙いながら持参してきた。これを集めて皆の意見を一覧にする作業になるのかと思っ

野藤委員長

たのだが、また次回にこれを持ってくるのか。

今お話したのでそのタイプを、今週に議会報告会が終わるので再度検討してもらうのは可能か。

西川委員

後になれば可能だが。

野藤委員長

来週に具体的方向性に出たいと思う。

小川副委員長

西川さんが言われるように僕もそれに基づいてやろうと思ったのだが、現状がどうなっているか調査も実態把握もなく、今の事業の有効性についての分析もしないと。新たな提案をするにしても、ただ先進事例を持ち寄るだけで良いのかと悩んだ。だから中身についてはまとめたが、(1)から(5)まで当てはめる所まで至らなかった。そこまでやっている方がおられるなら、そこから出発すべき。

野藤委員長

もし作ってこられた方がおられるなら、西川さんと永見さんはどうか。

永見委員

実情確認のためにもということで、メールをいただいてあちこち状況を見て回った程度なのだが。

佐々木委員

メールを見て西川さんのように作ろうと思ったのだが、これを作るのは大変な調査、研究、勉強が必要。それをやっても選に漏れるなら、これほど無駄なことはない。まずは絞っていくべきだろうと思って執行部に相談しながら自分なりの意見を言ってきた。テーマが大きいので色んな失敗をしながらというのも分かるが、無駄足はなるべく踏まないように進めないと息切れしてもいけない。

副委員長が言われたような、例えば公共交通の問題なら、ものすごく広いテーマで、執行部も7項目で色んな方面から具体的な提案をしている。地域性も含めながら。その中で執行部としてなかなかできにくい所、例えば議会として受け持つ所があれば。頭から我々が全部、問題点を調査して問題意識を持って提案するだけでなく、既に執行部として問題点や方向性は示しているから、その中で執行部がやりにくいことで議会に是非お願いしてやってもらいたいことがあるかもしれないので、そこだけでも部分的に。タクシーのマッチング等もできてないが、やっている所は数市あるのでそれらを見る等、我々ができる所を取り上げてやるの

も方法だと思う。

空き家問題も、美川地域では既に町内単位で調査していて具体数も出ている。空き家活用に向けた住民意識が高い。執行部がやっていることからもう一步、議会が入り込むことで事業が進めやすくなるようなことができるかどうかを、執行部に聞いてみることも1つの手かと思う。

野藤委員長

私も高齢者の移動手段の確保で作りかけたのだが、皆さんのご意見を聞いてからが良いと思った。8日に事務局と話して、これを添付してやろうと出したのだが、なかなかこれで一発でというのは難しいと思った。本来ならもうちょっと早めが良かったのかもしれないが。フローチャートで言ったように議会報告会の後でとは思ったのだが。

小川副委員長

移動手段の件だけでも、浜田市でも4つくらいの事業で予算が組んである。その分については国も専門的な検討会を作っている。高齢者の移動手段1つ取っても、国交省だけでなく厚労省も総務省もそれぞれ研究して研究結果に基づいて取りまとめて、提案がなされている。そこを参考にしながらやっていくのも必要かもしれないし、執行部との意見交換も必要だと思う。そうやって、どう絞り込むかの方針もないと難しいと思う。

人材育成も総務省が実際の事例や、頑張っている地域リーダーを集めて意見交換して、1つの見本を作って紹介したり研修会や講演会をやっている。そういう場所に行けば良いなら、人材育成はそれだけで済むのかといったことも色々考えると、どう当てはめようかという段階までいかない。また、各々が作ってもテーマを絞るうちに違うものになれば徒労に終わってしまう。

西川さんも悩んで作って来られたと思う。その過程で何が難しかったのか、もう少しここがあれば報告や具体的な提案ができただろうと感じられた所がありはしないかと思う。

西川委員

いただいた茅ヶ崎の資料からなので、アイデアレベルしか書いてないが、やって来いと言われたからやってきたので、進め方がまずいと思うが。

野藤委員長

逆に執行部側にもやりたい思いはあるものの議員側の反応を恐れてできないことがあれば、こういうことをやることで逆にで

きるという思いになるのかなとも、ちょっと思った。その辺を全部伝えることができなかった。メールに添付したのは、何かたたき台があれば出していただきたい思いがあったのでOKを出したのだが。

佐々木委員

これがあるのでまずはこれを勉強しようと思って、全部執行部に行って聞いたり。これを出す以上はそれなりの調査をして進めてあげないと、折角若い方が一生懸命提案されようとしていることが……本当なら皆でここで共有させてもらうのが一番だが、私も一応は作ったが。勉強するのは当然だし、こういうことがあったからこそ勉強できたのだが、これを出すには非常に調査・研究・勉強と労力がかかりかかる。作るのに協力な調査網を持っておられる方の賜物なのかと思って見た。

野藤委員長

この提案内容はそんなに具体的なものはないと思う。

佐々木委員

これは最終段階で市に提出する物だから背景や色々なものをここに出した。我々は逆にここから広げるからその辺の意思疎通ができてなかったと思う。僕もこれを出す以上は勉強してきたが。

野藤委員長

逆に後ろがあってこれがあるのかと思ったので。

佐々木委員

でもあの期間では後ろがあっても難しい。

野藤委員長

私も色んな自治体の条例等を見たが難しいと感じた。ここで絞るわけにいかないのです、皆さんから出してもらった中から絞る方が良いと思うのだが。

小川副委員長

佐々木委員が言われるように、これに書くといったら相当勉強した裏付けがあって費用対効果も含めて提案しないと。執行部のどこかの担当課が一生懸命勉強して市長に提出するものくらいまで煮詰めないといけないと思う。委員会で初めて政策討論会をやる段階でそこまでやるのは難しいと思う。皆の捉え方によって違いがある気がする。進め方も併せて検討しないと、これを今日の段階で持って帰っても次回に持ってくるのも難しいと思う。

西川委員

福祉環境委員会は各委員が1つテーマを持ち寄って、一覧表にして、その中から選んでいるのでそういうやり方なのかと思って。項目は先ほどと同じで、提案趣旨から背景、政策内容、予想される効果、必要な費用、そこまで調べて持ち寄って皆でそれを見て、というのをされていたので、自分もならって持ってきた。進め方

	を決めて貰えれば。
野藤委員長	来週また委員会を開きたいと思っている。23 日が総務文教委員会なので、その後に政策討論会向けの会議を委員だけでやりたい。各々が出したものを一覧表にするのは前々日。出していただく作業をお願いしたい。21 日中までに篠原次長に送っていただければ。
篠原次長	テーマを絞らずにやろうということなのか。昨年 12 月の議運でタイムスケジュールが出されているが、今の予定では 7 月頃には政策討論会幹事会を開くことになっている。そこで各常任委員会から出されたものを突き合わせて、何がどう採択されるか分からない。そこに挙げるためには(1)から(5)までの大まかな所を出さないと、幹事会でも選定が難しいと思う。
野藤委員長	茅ヶ崎のものも大まかな物だが。
篠原次長	はい、大まかのもので良いと思うが、それにしてもテーマ 3 つをそれぞれ出されるのも大変かと思ったりするのだが、今日テーマを決められた方が。逆算してスケジュール的に間に合うだろうか。
野藤委員長	次回委員会で一覧表から絞る作業になるかと思ったのだが。各々思いがあるから。
道下委員	それぞれ 1 本を、茅ヶ崎のあれに投げ込むのか。
野藤委員長	1 つのテーマに絞ってそれぞれが出すということだろう。
篠原次長	それが良いのかと思ったのだが、それぞれが自分の 3 つの中の 1 つ。それで 1 つにするということか。それも良いかもしれない。
野藤委員長	それを一覧にして、各々思うことを提案していただき、委員会内で話し合って 1 本に決めていく。1 本に決まったらまたそれに対する思いが委員それぞれあると思うので、それを出し合ってブラッシュアップしていく作業になると認識しているのだが。とにかく、自分の案が通らなかったからあとは知らないではなくて、皆で決めたのだから委員会内で決めた 1 つの案をもっと良くしようと皆で意見を言い合うのが筋かと思ったのだが。
西川委員	あのシートではなく今日のレジュメにあった提案の趣旨、課題の問題点、提案内容といった項目を書くのか。
	(以下、自由討議)
佐々木委員	決める基準は。

野藤委員長	皆さん公平な目で選定していただく。
道下委員	最終的には委員長。
佐々木委員	選に漏れた提案は来年生かされるのか。
野藤委員長	かもしれないが、そういう提案があったことが巡り巡って執行部側から出てくるかもしれない。
佐々木委員	提案そのものも含めて、こういう方法だったらできますよということはOKか。
野藤委員長	だと思う。それはこの委員会の中のプレゼン次第。そういう進め方で良いか。
西川委員	中山間地の特別委員会と被っているテーマについてはどうするか。前回からは新しいテーマとして「交通・通信・情報の確保対策」を12月までやることになっている。重複するかもしれないが。
野藤委員長	具体的な事業提案みたいなものは出ているのか。
西川委員	事業提案まではいかない。提言までだと思う。レベルが違うのでこちらでやっても良いとは思う。
小川副委員長	町場でも桜ヶ丘や外ノ浦では交通弱者問題がある。
野藤委員長	それは浜田市はデータを取っているか。
佐々木委員	何人くらい運ばれているか、石見交通の収入・支出もある。これに大体色んな事が載っている。言われたように地域性によって公共交通の問題も違うので、それぞれ対策は出ているし、自治区別の対策も出ている。それに目を通して考えを交わした方が良いと思う。僕はタクシーを活用する手法を進めたらどうかと前から思っている。いかんせん事業費が膨らみ続けているのでその圧縮も課題。
沖田委員	人材育成は確保か、育成か。
野藤委員長	教育も入るかなと思ったのだが。
沖田委員	育成なら教育になる。
野藤委員長	大きく捉えて欲しい。自分はこの1つでいくのかと思っていたが、3つと捉えていた方には申し訳なかった。23日には絞りたいと思うのでよろしくお願いします。
篠原次長	締切は前日だと厳しい。
永見委員	この項目全てを網羅するものというのはなかなか厳しい。

野藤委員長
道下委員
篠原次長

この項目全てを満たさなくても構わない。
いつまでに。
21 日中でお願いできれば。

(「はい」という声あり)

野藤委員長

その他。特別にこれがやりたいというのがあれば事前にいただ
いておけば、次回に。何かあれば。

2 その他

野藤委員長
西田委員
野藤委員長
篠原次長

その他。何かあれば。
視察日程はある程度分からないか。
ちなみに他はどうか。
産業建設は 5 月 20 日から 22 日まで行く。7 月 10 日から 12 日
が議会広報。7 月 24 日から 26 日が福祉環境委員会。この 3 つが
既に決まっている。

野藤委員長
佐々木委員
篠原次長

5 月は難しいな。6 月議会が終わってからかなと思っている。
幹事会はいつか。
予定では 7 月下旬の案が出ているが、今日たまたま議運の委員
長が来られて、6 月定例会中にやろうという提案をされたが、そ
れは難しいと思う。

(以下、自由討議)

野藤委員長

では 22 日の週前半ということで、日程だけ決めさせていただ
く。大丈夫か。

(「はい」という声あり)

野藤委員長

では 22 から 24 くらい、前半で決定させていただく。
その他何かあれば。

(「なし」という声あり)

以上で総務文教委員会を終了とする。

(閉 議 14 時 45 分)

浜田市議会委員会条例第 65 条の規定により、ここに委員会記録を作成する。

総務文教委員長 野藤 薫 ㊞